

## 銘柄分析レポート：四季報春号で見つけた割安株（2021年版）

### 1 はじめに

下のチャートは、昨年8月1日付の銘柄分析レポート「会社四季報夏号で気になった銘柄」で取り上げた宮地エンジニアリンググループ（3431）です。

金属製品という個人的に馴染みのない業種だったため、今までまったくノーマークの会社ながら、光通信が株主として登場していたこともあり、ふと目に留まりました

昨年7月31日終値は1,524円、今年4月2日終値は2,323円につき、5割強の上昇を演じています。

当時のPERは慎重に見積もった業績に対して5.2倍（その後、業績上方修正）で「いくら何でも安すぎる」と感じたものですが、1年も経たないうちにここまで株価が上がるとは想定外でした。

新しい四季報が発売される度に読み込みを行い、その中から個別銘柄をピックアップする作業の有効性を改めて感じた次第です。今月号の銘柄分析レポートでは、最新の会社四季報春号を通読して見つけた割安株を取り上げてみました。

### ★宮地エンジニアリンググループ 株価チャート



(c)Quants Research Inc.